

「子育て支援」再養成講座

第1期基礎コースのご案内

個別に支援の
必要な家族と子の
アセスメント

周産期からの
「相談者」としての
対人援助

他領域との
「専門職連携」による
チーム支援

「個別の教育
支援計画」に参画・
発達支援

文部科学省委託事業
再チャレンジ支援

全国315件申請中
126件選定



受講料／1コース1,000円

コースごとに 修了認定証発行

専門コースへチャレンジ

産後うつケア・虐待予防(基礎)コース 15時間

妊娠、周産期から就学前後まで、それぞれの時期に関わる専門職が、虐待予防のための視点やツールを共有して、連携をとりながら支援できる力を養うことを目指すプログラムです。特に基礎コースでは、虐待のハイリスク養育者である産後うつのスクリーニングと、虐待予防のためのリスクアセスメントから継続的な支援、関連機関の役割・体制の強化に至るまでを広く学び、専門職として能力の向上を目指します。

第1講 周産期からの母親への援助 ～虐待の実態と予防～

◎東京大学医学部(産婦人科医師) 荷見 よう子(1/13・4/27)

◎岐阜県総合医療センター(産婦人科医師) 山田 新尚(1/14)

第2講 シンポジウム 周産期からの虐待予防の実際

シンポジスト

◎東京大学医学部(産婦人科医師) 荷見 よう子(1/13・4/27)

◎岐阜県総合医療センター(産婦人科医師) 山田 新尚(1/14)

◎元浜田児童相談所長(臨床心理士) 小村 俊美

◎国立保健医療科学院 主任研究官(保健師) 中板 育美(4/27)

◎元東京23区保健師 藤尾 静枝(1/13・1/14)

◎日本助産師会開業助産師 長谷川 喜久美

■10時～16時

松江／1月**14**日祝

出雲／1月**13**日回

浜田／4月**27**日回

第3講 産後うつ病とEPDS利用法

◎三重大学保健管理センター 教授 岡野 禎治

第4講 シンポジウム 地域における虐待予防体制

シンポジスト

◎三重大学保健管理センター 教授 岡野 禎治

◎高知県立中央児童相談所医務主任(小児科医師) 澤田 敬

◎子ども虐待ネットワークあいち(弁護士) 桐井 弘司(2/10・11)

(弁護士) 福谷 朋子(5/6)

◎NPO法人ふくおか・こどもの虐待防止センター早良保健所長(小児科医師) 鈴宮 寛子

■10時～16時

松江／2月**10**日回

出雲／2月**11**日祝

浜田／5月**6**日祝

第5講 MCG(母と子の関係を考える会)とはなにか

◎子どもの虐待防止センター理事(CCAP相談員) 広岡 智子

第6講 パネルディスカッション 保健・保育・学校等関係機関における虐待防止

◎子どもの虐待防止センター理事(CCAP相談員) 広岡 智子

◎浜田児童相談所所長 石橋 昌彦

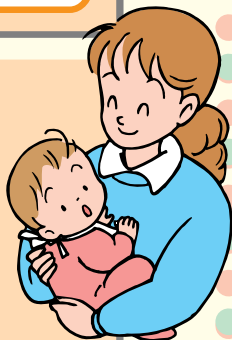
◎日本子ども家庭総合研究所(ソーシャルワーク研究担当部長) 才村 純(予定)

■10時～16時

松江／5月**5**日祝

出雲／5月**4**日回

浜田／7月**27**日回



食育実践 指導(基礎)コース 15時間

「なぜ、今、食育が必要なのか」、食生活の実態とその問題点について正確に学び、保育所や学校など様々な場で行われている食育の取り組みを知り、医師、教育者など様々な立場からの意見を聞き、食育の課題とあり方、多職種(他職種)の連携について考えます。また、食育を行っていく上での基礎知識として必要な「栄養と身体」、「栄養と精神機能の発育」、「食と五感、こころ」について学びます。

第1講 食育とは ～食生活の現状と課題～

◎厚生労働省健康局生活習慣病対策室 栄養・食育指導官 田中 弘之

第2講 シンポジウム 様々な場での食育への取り組みを知る

シンポジスト

◎きのみ保育園 園長 坂下 喜佐久

◎実践女子短期大学 准教授 白尾 美佳 (1/26)

◎京都大学生協 管理栄養士 森下 奈津 (1/26)

◎元京都大学生協 管理栄養士 友藤 弘子 (2/9)

◎中国四国農政局島根農政事務所

他

■10時～16時

松江・出雲

／1月**26**日(土)

浜田／2月**9**日(土)

第3講 島根における食育の現状と課題

◎島根県教育庁保健体育課 指導主事(兼 企画幹) 古川 康徳

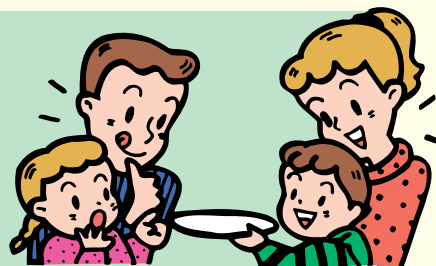
第4講 パネルディスカッション 食育のあり方について考える (課題と多職種の連携)

医師の立場から ◎慶応義塾大学保健センター 教授 南里 清一郎

効果ある食育プログラムとは ◎長崎大学大学院生産科学研究科 准教授 中村 修

記者の立場から ◎西日本新聞「食くらし取材班」(フリーライター) 渡辺 美穂

他



■10時～16時

松江・出雲

／4月**20**日(日)

浜田／2月**24**日(日)

第5講 食育の必要性について学ぶ その1 栄養と発育・発達

第6講 食育の必要性について学ぶ その2 食べることー発達と心の健康とのつながり

◎日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所 所長 川井 尚

食育の必要性

◎名古屋学芸大学大学院 教授 足立 己幸



■10時～16時

松江／5月**17**日(土)

出雲／5月**18**日(日)

浜田／6月**15**日(日)

早期発達支援(基礎)コース 15時間

子どもの発達の「遅れ」とは何かを正しく理解し、一人ひとりの子のつまずきと親の葛藤の個人差を受け入れ、より意欲的な生活、より楽しいことの多い親子関係を育てていくための技法を知っている、そのような専門職能を目指すコースです。まずは、「遅れ」の判定法と行動観察の視点を学びましょう。そこから自立支援の手法を学びます。また、他の専門職との連携のあり方を考えていきます。

第1講 DENVER II 判定法 ～発達スクリーニングの手法～

第2講 DENVER II 判定法 ～発達スクリーニングの利用～(技術演習)

◎兵庫県立のじぎく療育センター 小児科部長 宅見 晃子

※日本小児保健協会の修了証をお持ちの方は、第1・2講を免除しますので、お知らせください。

■10時～16時

松江／1月**27**日回

出雲／2月**10**日回

浜田／2月**11**日祝

第3講 視覚に弱さをもつ子どものアセスメント

◎大阪医科大学LDセンター オプトメトリスト 奥村 智人

第4講 発達につまずきをもつ子の 自立支援と親支援の進め方

◎社団法人 発達協会 第一指導科科长 武藤 英夫

■10時～16時

松江・出雲
／5月**6**日祝

浜田／5月**5**日祝

第5講 地域での発達支援ネットワーク構築のコツ ～福岡県久留米市での実践～

◎久留米大学医学部小児科 准教授 山下 裕史朗

第6講 就学前の発達障害児とその家族の支援について

◎神戸大学医学部保健学科 教授 高田 哲

第7講 シンポジウム 地域の発達支援ネットワークのあり方

シンポジスト

◎久留米大学医学部小児科 准教授 山下 裕史朗 (5/11・9/21)

◎神戸大学医学部保健学科 教授 高田 哲 (5/11・9/21)

◎いしいクリニック院長／つわぶき保育園理事長 石井 尚吾 (5/11)

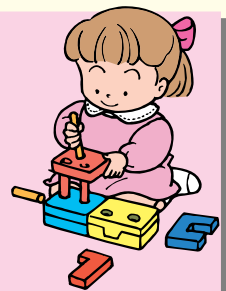
◎松江市母衣幼稚園教諭/母衣ほっと相談室 山根 司津子 (5/11)

◎松江市教育委員会指導課特別支援教育室 室長 河井 克典 (5/11)

◎浜田市市民福祉部地域医療対策課医療専門監 齋藤 稔哲 (9/21)

◎ちどり保育所 所長 森上 利理子 (9/21)

◎浜田市市民福祉部子育て支援課 課長 河野 洋子 (9/21)



■10時～16時

松江・出雲
／5月**11**日回

浜田／9月**21**日回

予告

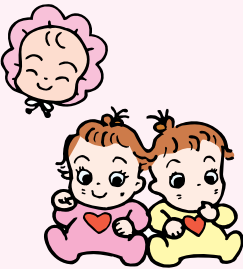
基礎コース修了後に開講します。
詳細は基礎コース修了近くになりましたらご案内いたします。

◎専門コース～

基礎修了者に技術演習・実習中心で実践力の発展をめざします

修了証

専門コースでは、乳幼児期と妊娠期・授乳期の特性と栄養ケアについて、さらに詳しく学びます。また、実践のための技法、栄養ケア計画(食育計画)の立案方法や栄養教育の方法について学びます。



産後うつケア・虐待予防(専門)コース

プログラム

産後うつ病研究の最前線
妊娠・周産期からのメンタルヘルス(アセスメント・ケア)
島根県における児童虐待のアセスメント方法
MCG(母と子の関係を考える会)養成講座

妊娠期・周産期からの親子と家族関係、メンタルヘルスに関するアセスメントと支援法を習得し、虐待相談や、ピアカウンセリング支援が実施できることを目指します。

食育実践指導(専門)コース

プログラム

発育発達と栄養 —形態および機能—
乳幼児期の発育発達と栄養ケア
妊娠期・授乳期の特性と栄養ケア
栄養アセスメント・ケアプログラムの計画・実施
栄養ケアプログラムの立案
栄養教育の方法(小児・母親)
栄養バランスガイド栄養カウンセリング
施設見学

ポータージやSSTプログラムなど、実践的な専門職能のための講座です。発達的なつまづきを持つ乳幼児を目の前にして、どのように指導計画を作成したらよいのか、今まで悩んだことのある方のためのプログラムです。

早期発達支援(専門Ⅰ.行動)コース

プログラム

発達検査の手法
ポータージ初級養成講座
自立のための指導プログラム
ソーシャルスキル発達支援のすすめ方
SSTの実践プログラム

早期発達支援(専門Ⅱ.言語)コース

プログラム

言語発達支援のすすめ方
コミュニケーション発達支援プログラム
代替コミュニケーション発達支援プログラム
軽度発達障害の脳科学



主要会場 松江・出雲・浜田キャンパス

A C C E S S

松江キャンパス



- 《JR松江駅》から車で……………15分「女子短大前」
 - 市営バス[1番のりば／南循環内回り(20分間隔)]……………20分
 - 市営バス[4番のりば／「短大經由宇平成町車庫」行き]……………15分
 - 一畑バス[5番のりば／「商業・短大」行き(朝1便)]……………20分
- 《JR乃木駅》から車で……………5分
 - 市営バス[南循環内回り]……………15分
- 《山陰道・松江中央ランプおよび松江西ランプ》から車で……………2～3分

出雲キャンパス



- 《一畑電車「川跡駅」》から徒歩で……………5分
 - ※一畑電車で川跡駅までは
 - 「電鉄出雲市駅」(※「JR出雲市駅」隣接)から……………10分
 - 「雲州平田」から……………10分
 - 「松江しんじ湖温泉駅」から……………40分
 - 「出雲大社駅前」から……………10分
- 《JR出雲市駅》から車で……………10～15分

浜田キャンパス



- 《浜田自動車道》から車で……………10～15分
 - 浜田自動車道を出て左折(山口・益田方面へ)そのまま浜田バイパスに乗り、「相生第2トンネル」を通過後、バイパスを降りる。
 - その後は看板の指示に従ってください。
- 《JR浜田駅》より車で……………15分
 - 大学行き循環バス……………15分

松江・出雲が合同で講習を行う場合は、別のホールを使用することがあります。時間は、多少の変更がありますので、ご了承ください。

●●●●●●●●●● お問い合わせ先 ●●●●●●●●●●

- 出雲キャンパス (〒693-8550 出雲市西林木町151)
 - 社会人①コース[産後うつケア・虐待予防]開発室 ☎0853-22-6544 E-mail : kaihatsu1@shimane-ne.ac.jp
- 松江キャンパス (〒690-0044 松江市浜乃木7-24-2)
 - 社会人②コース[食育実践]開発室 ……………☎0852-26-6345 E-mail : kaihatsu2@swc.ac.jp
 - 社会人③コース[早期発達支援]開発室 ……………☎0852-26-6347 E-mail : kaihatsu3@swc.ac.jp